

笑顔の華咲く夢の共演

岩日タイムズ

岩瀬 日本大学
高等学校
新聞部

山井 彩葉
後藤 多瑛
高野 裕崇
井坂 創一朗
深澤 圭吾
田崎 駿介
杉山 侑暉
橋詰 美香
飯岡 更紗
佐藤 真希
相澤 優花
岡野 未歩
築 真優子
谷田 華蓮
林 英弥里

チア部がネバギブとコラボ SAKURAフェスティバル

四月二十三日、桜
川市総合運動公園で
「SAKURAフェ
スティバル」が開催
されました。当日は

商工祭コーナーや、
東西のステージに分
かれて様々なイベン
トが行われました。
NEVAGIVE



UP（ネバギブ）と
いうダンス&ボーカ
ルグループは、地元
の老若男女、特に女
性ファンはステージ
と一体となつて盛り
上がっていました。
実はネバギブのメ
ンバー安達勇人さん
が本校の卒業生とい
う縁から、本校チア
リーディング部との
夢のコラボが実現す
る運びとなりました。

「君じやなきやダメ
みたい」をはじめ、
彼らのヒット曲に合
わせて部員がステ
ジ上でメンバーと共
にダンスを披露しま
した。短い練習期間
にもかかわらず見事
なステージで、SA
KURAフェスティ
バルの名前の通り、
華やかに舞う部員の
笑顔が印象的でした。
イベント前日には、
夜遅くまでネバギブ
のメンバーと部員が
振り付けの最終確認
を行っている様子を
特別に取材をさせて



▲ 前日のリハーサルではメンバーにインタビュー



もらいました。
厳しい練習の中に
もチア部を励ますメ
ンバーの温かい心遣
いを感じました。
安達さんは後輩と
一緒にイベントを作
り上げていくことを
とても喜んでくださ
いました。メンバー
の皆さんからも岩日
の生徒に対して、
「学生の自分は勉強
なので、学生らしく、
若い人らしく、今を
存分に楽しんでほし
い」とアドバイスを
頂きました。



今回は桜川市で行
われたSAKURA
フェスティバルを取
材しました。AED
を使った人工蘇生法
の体験や、真壁高校
に取材を行いました。
校外での取材は初
めてだったので、多
くの来場者の中での
取材は大変でしたが、
貴重な経験になりま
した。
(杉山)



編集後記